

北島 このお面の写真、節分のころの発行だから、表にはそれにちなんだ写真を載せようということになり、確か武川さんの提供されたものを使用しました。



餅をついてバザーで売っていた

司会 他にも思い出はたくさんあるんじゃないですか。

高橋 お餅をつくのが大変でしたね。千代田6丁目の人は小川七郎さんの家によくお手伝いに行きました。

司会 バザーと公民館まつりの模擬店の時に、小川さんの家に行つて餅をつき、あんころ餅にして売りましたね。

編集委員 餅はまさか臼でついたんじゃないでしょ。

高橋 臼と杵でつくんですよ。

司会 最初は機械がこねてくれるんです。最後まで機械がやればいいものを。

高橋 そう、仕上げは臼と杵なんです。

司会 しかも薪で炊いたんです。米を洗うのも大変でしたね。

北島 五十キロぐらいって言うってましたね。何年かは続けましたが大変手間がかかるのでこれに変わるものとしてお赤飯が定着しました。

司会 そして小川さんが自治連会長をやめてから、薪もガスにしよ

うっていつてガスになったんです。しかも野中保さんが使いやすいガスの道具を作ってくれて助かりました。

北島 野中さんね。あれだけ協力してくれた人もいないですよ。今は薪で炊いて餅つきなど、不平が出て出来ないでしょうね。



小林 やろうと思っても住まいの環境が変わって、場所の提供もできない。時代が変わったということだと思います。

子育てサロンの話

高橋 野中敬一さんも熱心な方でした。今はこの地区にも子育てサロンがあります。そのサロンの下地を全部野中さんがお作りになったんです。市の青少年相談員協議会に各

地区から二人委員が出ていまして、星が丘からは私も出ていました。その中の情報で、よその地域には子育てサロンがあるが、星が丘ともう一つの地域だけなかったんです。そ

したら野中さんが、「よその地域の子育てサロンの実情を聞かせてよ」って、私の家に見えたん

です。よそのサロンに女性の民生委員さん

と見学に行き、その後色々相談してできたんです。だからあの方も大きなものを残されたと思います。

社協のお金の使いみち

司会 今は当時と比べると色々変わってきましたよね。餅つきもあり

ませんし、薪からガスになりましたし、バザーも六十万円が二十万円弱

になってる。当時小川会長に「こんなにお金を貯めてどうするつもりなんですか。土地でも買うんですか」

って聞いたんです。そしたら小川さん、「銭は使えばなくなる。貯めてから使いみちは考えるんだ。貯めとけばいいんだ」っていつていま

したよ。

北島 当時は景気も良い時代でバザーの収益金も多かったです。その有効な使い方として、地域で福祉活

動を行っている団体への助成金なども出しました。

司会 自治会ももらってました。子どもの広場の運営のために使ってくれということ。それで「広場の

ない自治会はどうするの」と聞いたら、「子どものために使ってくれればいいんだ」って全自治会がもらって

ました。

これからの社協

北島 今では当時よりはるかに高齢の方が増えてきています。公民館で事業を展開しても、参加できる人は健康な人だけに限られがちです。足腰も弱くなり参加したくても出て来られない人をどうするか、この方々への対応も考えたいですね。

司会 これからの社協はこうあって欲しい、というようなことはありませんか。

北島 今では当時よりはるかに高齢の方が増えてきています。公民館で事業を展開しても、参加できる人は健康な人だけに限られがちです。足腰も弱くなり参加したくても出て来られない人をどうするか、この方々への対応も考えたいですね。

司会 今日はお忙しい中、貴重なお話を伺うことができました。ありがとうございました。

また高齢者の問題だけでなく、子ども達が明るく伸び伸びと育つ地域づくりを社協の立場から考えていければと思います。

高橋 夫が三年ほど前、両耳が聞こえなくなりました。私も八十三歳ですが夫を看えています。だからどんなにいい事業があっても家から出られないんです。そういう人を助ける方法ってないのかな、って思います。もっと小さなことで社協が何かできないかな、って感じています。

小林 何をやるのでも、お金が欲しいですね。社協を運営していくにはお金が必要です。行政に頼るのではなく、自分たち地域がお金を持っていることが必要かなと思います。

司会 各家庭の中で使われないまま、しま

い込まれていた品物、大げさに言えば眠っていた資源が、それぞれ希望される方々に引き取られ、大いに活用していただければ、福祉バザーも有意義なものになると思われます。大きな荷物を手に帰路に着く時のその満足そうな笑顔がそれを物語っているのではないのでしょうか。

※なお、売り上げ20万円弱は地区の福祉事業に役立たせていただきます。

「はい、ここが列の最後尾です」

第27回

福祉バザー



平成26年10月26日(日)、「会計2番へどうぞ」などと誘導の星が丘地区ふれあいフェスティバル会場の星小学校庭で、恒例の福祉バザーが行われました。

これまでと同様にフェスティバルの開会が告げられる前から、準備中のテント前には早々と並ぶ人が見られ、その人気ぶりがかがえました。

今回は初めて衣類もバザー提供品に含めたことで、その値付けにも苦労があったようでした。

いざバザーがオープンされると、待ち構えていた大勢の方々の長い列がテントの中へ吸い込まれていきます。



電気設備・設計施工

(株)成川電興

代表取締役 成川 紀生

相模原市中央区横山3-30-15

TEL 042(755)2556

FAX 042(755)6127

株式会社松尾商行



電気設備・設計・施工

株式会社 井村電気商会

〒252-0238

神奈川県相模原市中央区星が丘1丁目1番20号

TEL. (042) 752-0267

FAX. (042) 753-8484